

イブニング サロンNEWS

イブニングサロン公式サイト

<http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm>

発行

イブニングサロンNEWS」を発行する会
事務局・東方通信社
TEL: 03-3518-8844

環境対策、エネルギー対策で 期待される電源・電池技術

9月26日(金)、第20回目の「新都心イブニングサロン」が行われる。今回のテーマは「電源・電池」。環境対策や原油高騰が問題となるなか、次世代エネルギーがクローズアップされている。そのなかにあつて、今回登場するリチウムイオン電池などは、電気自動車への本格的な搭載が期待されている。エネルギー問題を解決する切り札になるか。世界的な実績を持つ企業の技術を要チェックだ。

環境にやさしいリチウムイオン電池で 新しいビジネスモデルを追求!!

エナックス(株)

原油高や環境問題への対策からハイブリッド自動車や電気自動車が注目を集めている。これらのエコカーを開発するうえで期待されている技術が、リチウムイオン電池である。リチウムイオン電池はエネルギー密度が高く、高い電圧が得られるため、電化製品のバッテリーによく使われている。すべて放電してから充電しないと容量が減ってしまう「メモリー効果」がほとんど無く、継ぎ足し充電を頻繁にできるのが特徴だ。このリチウムイオン電池の開発で世界的な実績を持つベンチャー企業がエナックスだ。

PHEVは自宅のコンセントからでも充電でき、ガソリンエンジンの補助なしに80km^{*}まで走行できるハイブリッド車。今後、普及が期待されている。さらに中国の山東省安丘や天津に工場を設立し、他社用電池の受託生産にも対応している。小沢和典社長は「環境にやさしく、将来性があるリチウムイオン電池を通じて、新しい交通・環境システムを構築していきたい」と話している。その思いが結実したのが、リチウムイオン電池で動く電気自動車「S3(エススリー)」だ。「風を遊ぼう」をテーマにつくられたこのS3、ミニカーとして登録でき、高速道路を除く公道を走ることができる。家庭で約8時間充電した電池で、約150km^{*}以上走行できるといふ。デザインから性能までまさに「未来」の乗り物といった感じだ。これからさらなる成長を期待させる企業だ。

本社・〒112-0013
東京都文京区音羽2-11-19
オトワクスビル801
TEL03-3944-0039
FAX03-3944-2254
<http://www.enax.jp>

「未来」の乗り物、電気自動車S3



「電気」は永遠のロマン 夢見る老舗企業の挑戦

(株)東京理工舎

「電気というエネルギーに魅せられ、その世界でひたすら技術を磨いてきました。夢見る心でさまざまなことに挑戦していきま—と話すのは、創業80余年の老舗電源メーカー、東京理工舎の岡崎孝宣社長。

同社は1924年に創業。磁気学を応用した実験用トランスの製造、販売を手がけ、第二次大戦中はスライドトランスや各種変圧器も製造していた。50年からは自動電圧調整器の製造を開始。

65年には、半導体使用のサイリスタ式交流電圧調整器「バリタツプ」を業界で初めて開発。電気炉や真空蒸着機のヒーター制御、通信機器の電圧調整に採用され、今もロングセラーとなっている。



電気エネルギーへの夢を追い続ける岡崎社長



同社のロングセラー「バリタツプ」シリーズ

岡崎社長は「積み重ねた技術の上に若い力と新鮮なアイデアを注ぎ込み、新しいニーズを開拓したい」と話す。その考え通り、90年代からエレクトロニクス産業の最先端に対応できる周辺機器や電源システムの開発、製品化に取り組んできた。その努力は実り、「古くて新しい」信頼性のある企業に成長を遂げた。

ちなみに同社は10月23日から25日までマリンメッセ福岡で開催される「モノづくりフェア」に出展。同社の優れた技術はここで見る事ができる。

本社・〒114-0012
東京都北区田端新町2-1-10

TEL048-8656-3851
(浦和事業所)
<http://www.tokyorikoshin.co.jp/>

小規模を武器にした 「強小企業」の挑戦

(株)ベルニクス

エレクトロニクスの心臓部である電源装置を製造しているベルニクス。製品の応用範囲は広大で原子力・火力・水力発電用電源から通信システム用、医療機器用、航空機器用、さらには宇宙衛星通信用電源まで手がけている。とくに医療機器の超音波診断装置は、国内で3割以上、自動的にブレーキ制御を行う自動列車停止装置(A.T.S)の電源部分にいたっては、ほとんどシェアを持つ。

成田空港管制レーダーシステム用電源、N-2国産ロケット高圧電源、南極基地用レーダー高圧電源などに、同社の技術が導入されていると聞けば、どれだけ技術力が高いかわかる。

発電所や空港などはひとつの失敗も許されないため、品質には徹底的にこだわってきた。そのため「これまで30万個ほどつくってきたが、部品不良率はゼロ」と鈴木正太郎社長は胸をはる。

これほどまでに高い技術力は、挑戦の連続で磨かれたものだった。難易度が高くなるほど、競争相手が少なくなる。困難はともなうがそれだけ技術力もあがっ

ていったという。また「他社の後追いではなく、独創的な商品で世界の市場をリードしたい」と話す鈴木社長。すでに韓国、中国、米国、欧州など世界中に販売網を確立している。

「わたしたちは、小規模を武器としたオンリーワン企業であり、強小企業」と考えています。そして一人一人の豊かさ、質を大事にしていきたいです」と話す鈴木社長。小規模ながら、パワーと独創性を持った「強小企業」。これからの日本を支える新しい企業モデルになるかもしれない。

本社・〒336-0024
埼玉県さいたま市南区根岸5-7-8
TEL048-864-7733
<http://www.bellnix.co.jp/>



同社の製品のひとつ。超小型ながら超高性能

耳寄り情報コーナー

埼玉県中小企業振興公社

73年に埼玉県内の中小企業の振興を目指して設立。中小企業の振興から人材育成、商業振興、セミナーなど幅広い活動を展開している。無料の経営相談もあるので、積極的に利用してみてもいいだろうか。ちなみに10月は弁護士による無料相談会を2日、7日、9日、14日、16日、21日、23日、28日に実施。その他、弁護士による法律相談なども実施。詳細はサイトのカレンダーにて。

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
ソニックシティビル10F
TEL048-647-4101



<http://www.saitama-j.or.jp/>

埼玉大学知的財産部

埼玉大学の研究成果を地域社会や産業界に活かすことを目指して03年に発足。主には知的財産の管理、特許出願、特許侵害などへの対応、知的財産権の啓発活動などを展開している。

ホームページには埼玉大学が待つシーズの一覧を閲覧できるので産学連携を展開したい企業は要チェックだ。

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
TEL 048-858-9106 FAX 048-858-9120

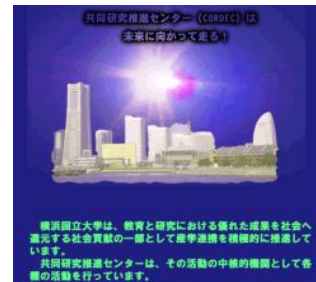


<http://www.saitama-u.ac.jp/chizai/>

横浜国立大学共同研究推進センター

産学官連携の推進を展開。中心になって組織している「よこはま高度実装技術コンソーシアム (YJC)」では実力派の実装技術者育成プログラムとして「JISSOスクール2008 【基礎コース】」を開講している。講師陣は横浜国立大学を中心とした教授および経験豊富な企業OBたち。実装技術の基礎を系統的にきちんと学びレベルアップを目指す実装技術者にとっては、見逃せないスクールとなっている。

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号
TEL:045-339-4381 FAX:045-339-4387



<http://www.crd.ynu.ac.jp/www04/newcenter/page01.htm>

野長瀬教授「モノづくり通信簿」に テクノスコープ社登場

イブニングサロンの世話人をつとめる野長瀬裕二・山形大学教授が企業診断を行う「モノづくり通信簿」が月刊『コロンプス』で好評連載中。これは、モノづくりで定評のある企業の工場や現場取材し、「成長意欲」「独自性」「営業努力」「モノづくり」「研究開発」「事業企画」「経営資源」「雇用創出」を採点。その上で、その企業の強み、逆境時の対処法なども聞き、総合的に企業を評価していくコーナー。この手法が読者に



「モノづくり」通信簿をつける野長瀬教授

好評で、「自社の改善点が見えた」「新しいビジネスヒントをつかんだ」といった声が編集部に届いている。最新の月刊『コロンプス』9月号では、(株)テクノスコープ(埼玉県さいたま市)の白川進社長が登場。86年に起業した同社は、今やIEE394(アイトリプリー、コンピュータやAV機器をつないでデータ転送を高速送受信するための規格)に関するオーソリテイに成長。その組み込み技術は産業用ビデオカメラの7割に使用されるまでになっている。

同社のビジネスの柱は、組み込み機器の受託開発で、売上げの61%を占めるほど。白川社長は「モノづくりの下請けは図面通りだが、メーカーのイメージやニーズをヒアリングしてキッチリと」



アップル社も認める技術力を持つテクノスコープ白川社長

仕様作成するところから作業をはじめめる。ときには生産を行うこともある」と話す。受託開発の39%を占めるアップルコンピュータ専用のシステム開発も大きなビジネスになっている。同社はアップル社の草創期である80年代から、その研究開発に没頭してきた。その結果、アップル社の正式な認定を受け、ソフト開発に取り組んできた。アップル社と連携できる企業が少ないだけに、開発依頼は多いという。

ただ、自社製品の開発は、まだまだ立ち上げ段階。だからこそ「企画力、営業力の強化をはかっていきたい」と白川社長は話す。さらに「エンジニアがノビノビと研究に打ち込める環境づくりを重視している」という。次代の日本のモノづくりを担ってほしい元気企業である。

今後「ウチもモノづくり通信簿をつけてほしい」という企業は、「コロンプス」編集部まで連絡を。
(株)テクノスコープ
TEL048-822-5268
http://www.technoscope.co.jp/

テクノスコープの「産業栽培度」



サロン公式サイトで「ニュース」公開中

第10回新都心イブニングサロンで創刊された「イブニングサロンニュース」



は、新都心イブニングサロン公式サイトおよび発行事務局の東方通信社サイトにてアップされています。第10号までアップしていますので、ご覧下さい。

今後も引き続き、さまざまな角度からニュースを発信していきたいと思っております。新商品や新技術の開発、ご意見・ご要望までお寄せください。

★イブニングサロン公式サイト
http://www.innovationpartners.jp/nonagase/evening.htm
★東方通信社サイト
http://www.tohopress.com
問合せ：TEL03-3518-8844
e-mail：ryot@tohopress.com

月刊『コロンプス』が 元気企業を取材します!!

産業栽培誌・月刊『コロンプス』(東方通信社発行)には、野長瀬裕二教授の連載コーナーのほか、地元の元



気企業を紹介するコーナーもあります。これまで、さいたま市産業創造財団の江田理事長(04年10月号)やNECパーソナルプロダクツの柴田執行役員(06年2月号)など、イブニングサロンの関係者・参加者たちの取材記事を多数掲載してきました。今後、取材を希望される方はご連絡ください。

問合せ TEL: 03-3518-8844

★イブニングサロンの主な世話人

江田元之(財)さいたま市産業創造財団・理事長／星野弘志 元埼玉県労働商工部新産業育成課・課長／村重嘉文 (株)イーシティ埼玉・取締役会長／野長瀬裕二(学)山形大学大学院理工学研究科・教授／浜中真人・さいたま商工会議所産業企画部・次長

★主な企画運営委員

山田頼二(財)浜松地域テクノポリス推進機構・事業推進部長／江原秀敏 コラボ産学官・常任理事・事務局長／古川猛 月刊『コロンプス』編集長(東方通信社)／根津紀久雄 NPO法人北関東産官学研究会・理事長／柴田孝・米沢BNO副代表